災害ボランティア・NPO活動 サポート募金 www.akaihane.or.jp

東北・福島+埼玉=福の玉が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように…

福玉便り

ふくたまだより

緑もひかる 5月号

2015年5月1日発行

通巻 第36号

発行:『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部
編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉メール:fukutama@431279.com
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4−21 TEL048-833-8731
印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

富岡町復興支援員さん

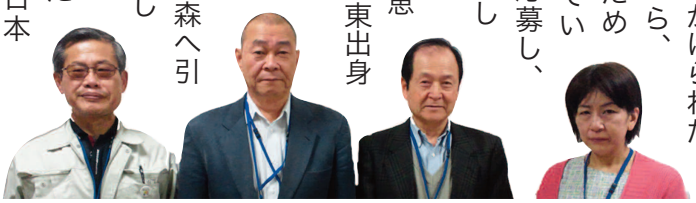
富岡町は1月20日、さいたま市に「富岡町県外避難者支援拠点」を開設し、4名の方が復興支援員として委嘱されました。復興支援員の皆さんは主に個別訪問活動を行い、県外避難者の方々の話を通して現状理解をしていく予定です。個別訪問の他にも、サロン活動の参加やアンケートの集計、イベント企画なども行い、県外避難者のコミュニティづくりに向けて活動されています。今回は4名の支援員の皆さんをご紹介します。

木幡日出夫さんは富岡町本町から久喜市に避難されました。これまでも久喜市で、月に一度のお茶会を開いてきました。その活動の熱心な姿勢から推薦を受け、復興支援員に採用されました。

鈴木直清さんは南相馬市小高区の出身。富岡町のご出身ではありませんが、市役所で働いていた経験を活かしたいとおっしゃっています。この4年間の状況をテレビで見ると寂しさを感じ、「ゲートキーパーのような存在になれればいい」と話していただきました。

林力さんは、高校まで富岡町で育ち、現在は川口市で生活されています。退職後、お友達から声をかけられたきっかけから、富岡町のために協力していきたいと応募し、採用されました。

番屋理恵子さんは関東出身で、ご主人のお仕事の都合で富岡町夜ノ森へ引っ越しました。生活に慣れてきたころに東日本大震災が発生し、現在はさいたま市北区に避難されています。


左から鈴木さん、小幡さん、林さん、番屋さん

以上4名の方が、富岡町の皆さんのために活動されています。活動の際は、丁寧に町民の皆さんのお話を聞いていくことを意識しているそうです。訪問をすると、どの年代の方でも最初は「大丈夫。私は暮らしに慣れました」とお話しされるようですが、何度かお話をしていくうちに「本音」を話してくださるとのことです。

「震災から4年が経ち、さまざまな不安があると思いますが、自分の思うこと、不安や悩み、他にも疑問に感じたこと、うれしい出来事、なんでも構いません。町民の方々の今を知りたいと考えています。なんでも話してください。みなさんの仲介役として声を届けます。できることは力になります」と、支援員さん全員がおっしゃっていました。特に高齢の方、富岡町での生活とは違い、人との関わりの少なさに寂しさを感じていたら、ぜひ、みなさんの気持ちや富岡町での思い出を支援員さんに話してみてください。きっと力になってもらえると思います。

4名の支援員さん全員が、富岡町に対して熱い思いがあります。これから富岡町復興支援員さんをよろしくお願いします。(編集部・猪狩)

東日本大震災ドキュメンタリー映画上映会

『希望をささえる -3.11その時、保育園は続編- 』

取材・構成・演出:伊藤義将

子供たちの成長の早さに追いつかない「復興」の中、これまで通りの日常を取り戻す為に奮闘する保育士たちの「今」を描いたドキュメンタリー。

13:30〜第一部 映画上映会 入場無料
15:00〜第二部 防災について対談　15:30〜第三部 懇親会
場所:シラコバト団地 第一集会室 埼玉県上尾市大字上370(駐車場有)
問合せ:シラコバト団地自治会 048-607-6723
東日本大震災に咲く会 ひまわり 橘 080-3091-6215

NHK FMさいたま 『福玉便り』コーナー

毎月第4火曜日
午後6時〜午後6時50分
(FM85.1MHz
秩父83.5MHz)

☆第5回放送は5月19日(火)午後6時〜午後7時の間の「生放送」です。

自主避難ママのゆるやかな集まり～
ぽろろん♪の時間ですよ①

4月11日　第1回目の〈ぽろろん♪の時間ですよ〉がときわ会館で行われました。当日の様子をレポートします。（ぽろろん♪実行委員会　高野美香子〈南相馬市→さいたま市〉）

この日は大人6人、子ども7人の方が交流会に参加して下さり、とても賑やかな会となりました。

都内から子どもの保育のボランティアに来て頂いた方がいたおかげで、大人同士、同じ自主避難者ならではの会話がたくさん出来ました。同じ地元出身のお母さん同士が、実はご近所だった！というお話も聞こえてきました。

バス停や田んぼや畑の話…「これってローカルトークだよね（笑）」笑いの中にも、ほのぼのした空間が感じられました。自主避難から4年目にしてようやく同じ地元の人と出会えた瞬間、「つながっていたんだね…」と口にした言葉がとても印象的でした。〈ぽろろん♪〉を通じて、つながれた事を嬉しく思います。これからもこういった交流会で、1人でも多くの人がつながるきっかけになればいいな…と思っています。

「本当は、今日は忙しくて来る予定ではなかったけど、つながりたくて来たよ！」と言ってくれた方もいました。また、参加する側の意見としてこんな事を言ってくれました。「交流会の案内が届いて、行こうと思う気持ちがあってもなかなか行けない人も居るのかな…。一度連絡を取り合って、何人集まれるか事前に確認が出来るようになれればもっといいのかもね」と。その方は「みんなの為に役に立ちたい。私にも何かお手伝い出来るんじゃないか！」という想いも話してくださいました。勇気を出して来てくださった事に、逆に勇気をいただいた気がします。

都内から来てくれた保育の方は、地元で小規模の交流会を支援している方でした。今では幅広い年齢層の方が来てくれているそうです。でも、年配の方はやはり同じ避難元の方とつながりたくても、どこに居るのか分からない。情報も届かない。…どうしたらつながれるのか？を考えた時に、隣の市に連絡をして、そこでの交流会を通じてつながりを広げているんですよ…と話してくださいました。

今回の交流会を終えてみて、様々なつながり方がある事を感じました。1つの勇気が新しいつながりを生む事も知りました。「つながりたい」と思う形は人それぞれ違うけれど、ゴールはみんな一緒。同じ想いの人たちと過ごす温かい時間なんだな…と私自身、学ばせてもらいました。

そして、そこで終わりではなくて、そこから新たにスタート出来る希望が生まれることを知りました。

次回は、5月11日（月）坂戸市オルモ（東武東上線坂戸駅から徒歩1分）で開催します。駅からとっても近い会場です。13時～15時を目安に、出入り自由のゆるやかな時間を、一緒に過ごしませんか？美味しいコーヒーと手作りクッキーでお待ちしています。どうぞ、ご連絡くださいね。

お問い合わせ：070・5594・0053（鈴木）cheer@kxa.biglobe.ne.jp（吉田）

客席と演奏者が一体となり経験のない感動を経験しました！

和光3・11を忘れない実行委員会　事務局長　齋藤大介

3月12日～14日、和光市民文化センターで、「3・11」イベントを開催しました。

この3日間に、「漂流ふくしま」と題する写真・詩・短歌展には500人が来場し、防護服やトン袋の現物展示にも関心が集まりました。

14日の日中は、和光市近隣に避難されている方々をご招待して、「和光3・11つながりカフェ」を開催しました。合唱や亘理町「津波語り部」の話、浪江町出身「表現者の対談」などには観客250人が参加しました。

そして、夕方には、和光3・11を忘れない実行委員会が最も力を入れた「和光3・11を忘れないコンサート」を開催しました。石巻市立大川小出身の指揮者、石巻や南三陸町出身の声楽家らと、石巻市民交響楽団と石巻合唱連盟有志の合唱団60人、そして首都圏の様々なオケ・合唱メンバー合計500人近くの大合同演奏会で盛り上がりました。3・11直前から今年5月まで、石巻で演奏してきた曲。中でも前半のフォーレ「レクイエム」に続き、後半の「ふがるさとの四季」・「カンタータ大いなる故郷石巻」と演奏が進むと、会場客席では涙した方々も散見されました。大ホール2階席まで満員となり、500人の演奏者たちも「経験のない感動」を経験しました。来年は、3月10日～12日に開催することを決め、実行委員会は新たなスタートを切りました。

越谷会場に集まったみなさん

南相馬市避難者のつどい

～ふるさとの言葉で、いっぱいお喋りしませんか？～

南相馬市内から埼玉県に避難しているのは781人。双葉町の840人に次いで2番目に多いのです。

これまでいただいた「南相馬の人だけで集まりたい」というたくさんの声に応えて、実行委員会からの呼びかけで開催しました。

事前に入った予約の他にも、当日まで「行っていいのか、どうしようか、迷いながら来ちゃいました。」という方で川越には22名、越谷には16名が集まりました。

南越谷会場では、「中華料理屋の○○です。」「○○商店の娘です。」「旧姓○○です。」と自己紹介する顔を見合って「やっぱり、あそこの！」と再会を喜ぶみなさん。「年寄り2人で顔つき合わせていても何喋っていいかわかんねぇから」ケンカばっかりしてんだ」と笑いながらご夫婦で参加される方も数組。

懐かしい顔に出会えてお弁当を食べる間にもお喋りのタネはつきません。

南相馬市は平成27年4月現在、①帰還困難・②居住制限・③避難指示解除準備・④避難指示のない区域と地図上では4つに区切られています。事故直後から区域が徐々に再編されてきている難しい地域でもあります。

「うちは賠償金があるけど代わりの家を建てるといっても若くないからローンを組んだりもできないし」「自主避難と言われても好きでそうしているわけではないんです」とお互いの状況を少しずつわかり合える場面もありました。

平成28年春までとされている住宅支援、「打ち切り後のことを考えておいてくださいと言われている」「どう動こうか、迷っている」、「子どもや孫たち若い人たちはもう帰らないと言っている」「帰って独りになっても面倒見られないよ、と言われている」その後を見据えて「具体的に考えているが、実現できるかどうか」「市の広報には新たに家を求めるとき、修繕のときは補助が出ることが掲載されていたけど、実際どうなんだろう」…などと悩む声がほとんどでした。

月内には東京地裁へ、「特定避難勧奨地点の解除取り消し」などを国に求める動きがあったり「今だからこそ」と移住する著名人がいたり。ひとくちに「南相馬」と言っても何を基準にどう判断するのかは、個々に委ねられているのことは、今もかわりません。

終盤に近づき、まだ話していない人と3人組になって、「次の会はどう進めたい？」を考えるゲーム。なかなかお喋りの輪に入れなかった無口な方も「女性が華やぐ会を」「カラオケしたり、ちょっとお酒が入っても」「夜がいいなぁ」と照れながらも発言してくださいました。みなさんから頂いた意見をもとに、次回の進め方を実行委員会でまとめて、詳細が決まり次第お知らせします。「私も一緒に手伝いたい」「別の場所でできませんか」というご意見も大歓迎。

048・833・8731（埼玉県労働者福祉協議会、福島復興支援員事務所）までご連絡ください。（編集部・谷居）

川越会場には福島県出身のなすびさんも駆けつけてくれました。

川越会場に集まったみなさん。「会場には来られないけど飾って」と越谷市内に避難中の方から託された切り絵を持って撮影しました。

○3月18日（川越会場）、24日（南越谷会場）、埼玉県西部と東部で各1回開催。

○主催：『南相馬市避難者のつどい』実行委員会　代表高橋菊生さん（小高区→熊谷）、副代表・鈴木直清さん（小高区→坂戸市）

○協力：埼玉県労働者福祉協議会、福島県復興支援員

○場所提供：コープみらい

ふくしまの今とつながる相談室toiro 2014年度の報告

昨年5月に電話相談窓口を開設した「ふくしまの今とつながる相談室toiro」には、2015年3月末までに延べ182件の相談・問い合わせが寄せられました。そのうち115件(63%)が全国各地に避難されている方から、60件(33%)が各地で支援活動をされている方からでした。今回は避難者より寄せられた115件の相談から見えた傾向について報告します。(一般社団法人ふくしま連携復興センター　柳本新一)

避難者から寄せられる相談の48%が区域外避難の女性から

男女別で見ると男性40件、女性75件でした。避難元が避難指示区域内(いわゆる強制避難)か区域外(いわゆる自主避難)かで分類すると、区域内37件、区域外76件でした。この2項目をかけ合わせて見ると、男性は区域内19件、区域外21件とほぼ均衡しているのに対し、女性は区域内21件、区域外55件と区域外が圧倒的に多くなります。この55件という数は避難者からの相談全体の48%に達しており、母子避難を含む区域外避難の女性へのサポートが必要であることを強く感じます。

図1　男女別・避難指示区域内／外の割合

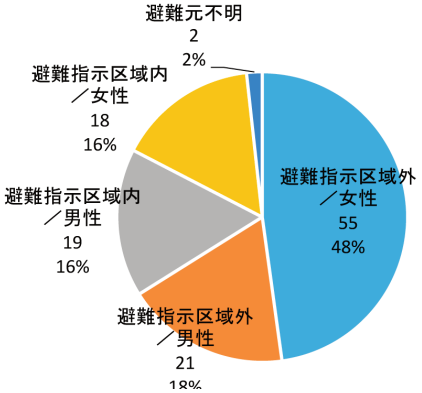
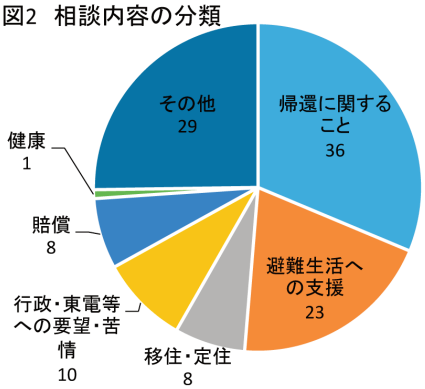


図2　相談内容の分類



昨年秋以降、帰還に関する相談・問い合わせが増加

相談内容で最も多かったのが、帰還を決めた方、あるいは近い将来の帰還を考えている方からの相談・問い合わせでした。帰還に関する問い合わせは昨年秋頃から徐々に増えてきました。相談者の多くは前述したような区域外避難の女性、特に子育て世代のお母さんたちです。帰還準備のため、あるいは帰還の時期を検討するため、戻る地域に関する情報収集を目的に電話して来られる方が多くいらっしゃいました。具体的には、賃貸住宅の空き状況、正社員やパートの求人の状況、幼稚園・保育所の空き状況、除染の進捗状況など多岐に渡りました。

帰還に関する相談以外には、避難先への定住を考えている方から避難指示区域内に残してきた土地建物の処分の方法について問い合わせをいただいたり、避難を継続される方から現在適用されている支援サービスがいつまで継続されるかといった問い合わせをいただいたりしています。

toiroでは相談内容に応じて、自治体の相談窓口や担当課、各種行政機関、民間業者や市民団体など、適切と思える問い合わせ先にスタッフがひたすら電話して情報収集し、相談者に提供します。必要な場合には相談者が直接つながれるよう段取りもします。

性別と年齢の分布から見えてきた「50代男性」の苦悩

性別と年齢のかけ合わせで見ると、やはり「30代・40代女性」、小さいお子さんをお持ちの子育て世代のお母さんが最も多くなっています。一方で目を引くのが「50代男性」からの相談が多いことです。原発事故によって家、土地、仕事をいっぺんに失い、家族も離れ離れになった。避難先では仕事に就けず毎日家に居る。周りにはそんなこと(悩み)を話せる相手もいない―。多世代同居の大家族を支えてきた〝一家の大黒柱〟が大きな苦悩を抱えながら避難生活を送っていることを実感させられました。

避難世帯への戸別訪問をされている方がいらっしゃいましたらお願いです。訪問の際、奥様にしか会えないお宅では是非、「旦那さんの様子はいかがですか?」と聞いてみてください。お願いします。

toiroは2015年度も一つ一つ丁寧に取り組んで参ります

toiroでは、こうした多様な相談・問い合わせに対して一つ一つ丁寧にお話を伺い、対応してきました。全国の支援者の皆様に多大なるご協力をいただき、信頼できる支援と相談者をつないできました。ご協力いただいた皆様、本当に有難うございました。一方で上手く解決できなかった相談もありました。前年度の反省も踏まえ、toiroは2015年度も一つ一つ丁寧に取り組んで参ります。埼玉県で避難生活を送る皆さん、お困りのこと、福島のことで知りたい情報などあれば是非お気軽にお電話ください。

ふくしまの今とつながる相談室

toiro

024-573-2731

毎週 月・水・金

10:00～17:00

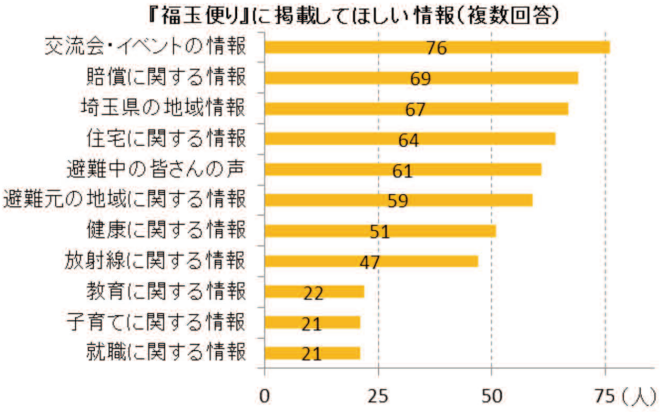
※祝祭日はお休み

一度かけて頂きましたら、こちらからかけ直します。電話代のご心配なく、お気軽にお電話ください。

『福玉便り』読者アンケートから②
～編集部へのご要望・メッセージ～

『福玉便り』では、3回目の読者アンケートを昨年12月に実施し、140人の方からご回答をいただきました。アンケートの結果は『福玉便り2015春の号外』にてお伝えいたしましたが、その際に掲載できなかった編集部へのご要望やメッセージを、今号にてご紹介いたします。（編集部・原田）

「『福玉便り』に掲載してほしい情報」を複数回答でお尋ねしたところ、図のような結果になりました。



「交流会・イベントの情報」が最も多く、「賠償に関する情報」「埼玉県の地域情報」「住宅に関する情報」「避難中の皆さんの声」と続きます。これらに関して、自由記述欄では、多くのご要望やメッセージをいただきました。いくつかご紹介いたします。

・毎月、毎日参加できるわけではないのですが、交流会の企画が載っていると嬉しく、みなさん元気かな？と考えます。『福玉便り』で埼玉の地名、地域を知る事ができています。本当にありがとうございます。（宮城県山元町→埼玉県、60代女性）

・都会生活に慣れてきましたが、地区の人々と挨拶くらいで福島にいたようなお話は出来ず常に孤独感を持って生活しています。そんな時『福玉便り』により人に会いお話をできる楽しみをみつけ、うれしくなります。感謝。東電の賠償、最新の情報があればうれしいです。（楢葉町→さいたま市、70歳以上男性）

・埼玉県に慣れ親しみたいので、県内の地域情報、見どころや、お店などの事は知りたい。（いわき市→羽生市、40代女性）

・『福玉便り』を読ませていただいておりますが、こちらに来てから交流会等にも出ないので、福島の事を載せて頂いているのを読むのを楽しみにしております。これからも是非続けていただきたい。（大熊町→桶川市、60代女性）

・『お手紙ですよ♪　ぽろろん』の車のナンバー話に共感しました。避難しているママにしか伝わらない複雑な気持ちを読んで、悩んだり心配するのは自分だけではないんだ～とホッとしました。（富岡町→鴻巣市、40代女性）

・交流会イベント情報、楽しく読ませていただき有難うございます。高齢者なので自動車運転も、この埼玉県の道路はよくわからないので、せっかくのご案内の交流会に参加できないのが残念です。交流会に1度参加させていただきました。富岡出身の方の車で同乗させていただき、楽しい思い出になりました。『福玉便り』のお願いは健康に関すること。介護施設、老人ホームの入所等に関することをお願いします。（大熊町→深谷市、70歳以上男性）

・『福玉便り』は避難してきたすべての方々に寄り添って書かれている感じがして、読んでいて、とても心が安らぎます。また避難に際して必要な情報、深く切り込んだ情報も大変役立っています。『福玉便り』が手元に届くのがありがたいし、『福玉便り』に関わっている方々に感謝しています。（浪江町→所沢市、40代女性）

・友人知人がバラバラになってしまい、なかなか会うことができなくなっているので、避難中の皆さんの声がとても興味があったり楽しみであったりします。（いわき市→埼玉県、50代女性）

・様々な情報が不足していると感じます。様々な声もうれしいのですが、より様々な情報が欲しいです。（福島市→和光市、30代女性）

『福玉便り』も創刊から4年目に入り、どのような紙面がよいのか、編集部では試行錯誤を続けています。すべてのご要望にお答えするのは難しいのですが、読者の皆さんからのご要望やメッセージは、とても励みになります。今後もぜひ声をお寄せください。メールやお手紙をお待ちしております。

政府出資の原子力損害賠償・廃炉等支援機構による

原子力損害賠償に関する最新情報説明会

6月14日〈日〉市民プラザかぞ
（埼玉県加須市）

●第1部：説明会　10:00～12:00
今後の生活再建に大きく関わる「住居確保にかかる費用」の賠償内容を中心に解説いたします。避難指示区域〈帰還困難区域・居住制限区域・避難指示解除準備区域〉から避難されている方々が対象です。

●第2部：個別相談　13:00～16:45
原発事故よにり損害を受けた方全員が対象です。（自主避難含む）

※無料です。

第1部、2部両方とも無料です。

事前予約　0120-330-540

9:00～17:00（年中無休）

3 双葉町老人クラブ女性会 &さいがい・つながりカフェ

定例月1回9:30～11:30

5月7日(木),6月4日(木)

定例サロン

いきいきサポートセンター

(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)

080-5532-7380(薄井さん))

4 寄り添いステーション こらっせ くわっせ双葉

各種イベント、マッサージ、手作り品、地元の野菜などのコーナーがあります。

不定休　13:00～

寄り添いステーション騎西

加須市正能11-5

090-1650-2874(富沢さん)

5 ぴえろの遊び広場

子どもの遊びとお母さんたちのサロン

6月28日(日)

10:00～14:00

騎西コミュニケーションセンター

加須市 sai.jacdp@gmail.com

日本臨床発達心理士会 埼玉支部

6 負けねっちゃきらり

石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。

伊奈町　☎ 090-7244-9267(高橋さん)

7 向原団地被災者の会

小さな会です。上尾近隣の方、つながりましょう(^^)！

毎月第2土曜日18:00～

6月13日(土)

※飲み物食べ物と集会所使用料(100円)持参

向原団地集会所

上尾市 ☎ 080-6044-2922(冨永さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり

シラコバト団地を中心に情報交換会と物資配布を行っています。

毎月第1土曜日10:00～12:00

5月2日(土)6月6日(土), 会合

6/13(土)映画上映会※詳細は1ページ

シラコバト団地第一集会室

上尾市☎ 048-607-6723(団地自治会事務所)、☎ 080-3091-6215(橋さん)

9 "想い"

情報紙"想い"の発信や賠償説明会などを不定期に開催しています。

5月13日(水)11:00～ お茶会

北鴻巣駅近隣

鴻巣市

345shinohara@ezweb.ne.jp(篠原さん)

10 ふるさと交流サロン

21回で閉会しましたが、再会の機会をつくりたいと思います。

熊谷市 ☎ 080-5430-5452(駒宮さん)

こちらのサイトにも情報があります。

http://431279.com/

(SSN震災支援ネットワーク埼玉)

11 羽生つながりカフェ

5月10日(日)13:00～14:30

「カンタビーレ」出演。童謡・唱歌・Jポップを一緒に歌いましょう。

毎月第2日曜日13:00～15:00

パープルふれあい広場

048-561-1681

羽生市 ☎ 080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会

毎月第4 週水曜日10:00～12:00

5月21日(木), 6月25日(木)

定例サロン

ネット21 久喜事務所

久喜市本町2-1-59

☎ 090-6855-7140(木幡さん)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン

定例サロン

毎週木曜日13:30～15:30

国家公務員宿舎杉戸住宅

(つつじの里サロン)杉戸住宅6-301

☎ 0480-33-3455(佐藤さん)

14 春日部つながりカフェ

5月21日(木)13:30～16:00

コーププラザ春日部 2F第1会議室

※法律家参加、法律相談できます

048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場

月1回参加費無料12:30～16:30

5月17日(日,)6月21日(日)

ほっと越谷(北越谷駅東口1分)

☎ 090-2433-6057(廣瀬さん)

16 越谷避難者の会

5月いちご狩り 6月ブルーベリー狩り※日程調整中

越谷市　☎ 090-9425-2001(石上さん)

20 つながろう!放射能から避難したママネット@埼玉

不定期で開催中、連絡お待ちしています♪

bjskr146@yahoo.co.jp(木村さん)

21 梨の実スペース 大熊町コミュニティ支援関東事務所

大熊町出身の復興支援員もお待ちしていますのでぜひ遊びにきてください!金曜日以外にお越しの際は、事前にご連絡ください。

毎週金曜日10:00～16:00

大熊町コミュニティ支援関東事務所

さいたま市浦和区仲町2-15-4

☎ 048-711-7135

22 浪江のしゃべり場 浦和の８畳間

浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。

月曜日～金曜日10:00～17:00

浪江町復興支援員 埼玉事務所

さいたま市☎

048-833-8731(埼玉労福協)

26 お茶飲み交流会

市内に避難してきた方々の「お茶のみ交流会」を2か月に1回のペースで実施中。

隔月1 回 10:00 ～12:30

4月25日(土)お茶っこ交流会

鶴瀬西交流センター　富士見市

☎ 049-251-2711(富士見市安心安全課)

27 おあがんなんしょ

1 いろりっぱた"本音で語り合う時間

2 お茶にすっぺ"ワイワイ楽しい時間

月1 回

5月17日(日), 6月21日(日)

定例サロン

ふじみ野市 フクトピア

☎ 090-5340-8408(松舘さん)

28 ここカフェ@川越

心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。*ご参加の方は昼食をご用意しますので、お電話くださいね

毎月1 回10:00～15:00

5月27日(水)鶴ヶ島支援センター

6月27日(土) JUN ホール

☎ 070-5080-4494(鈴木さん)

6月

1日 (月)
2日 (火)
3日 (水)
4日 (木) 3
5日 (金) 21
6日 (土) 3
7日 (日)
8日 (月)
9日 (火)
10日 (水)
11日 (木) 17 19
12日 (金) 21
13日 (土) 7 23 24
14日 (日)
15日 (月)
16日 (火)
17日 (水)
18日 (木) 18 2
19日 (金) 21
20日 (土)
21日 (日) 15
22日 (月)
23日 (火)
24日 (水)
25日 (木) 12 19
26日 (金) 21
27日 (土) 28
28日 (日) 5
29日 (月)
30日 (火)

福玉(ふくたま)募金 ご協力ありがとうございます。

2015年号外(特別)号にて呼びかけをさせていただきましたところ、読者の皆様からも、たくさんのご寄付とメッセージをいただいております。ほんとうにありがとうございます。これまで2年間の募金の金額と支出を次号にてご報告いたします。

埼玉県観光課のサイトには、定番観光地から意外におもしろい工場見学、B級・S級グルメ、"地"スイーツ、地酒応援団etc…　埼玉県民も実はよくしらない情報が満載です。「ちょこたび埼玉」で、検索してみてくださいネ～。

http://www.sainokuni-kanko.jp/

東北・福島・埼玉=福の玉が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように…

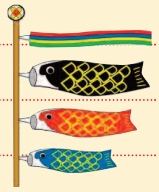
福玉

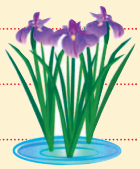
ふくたま

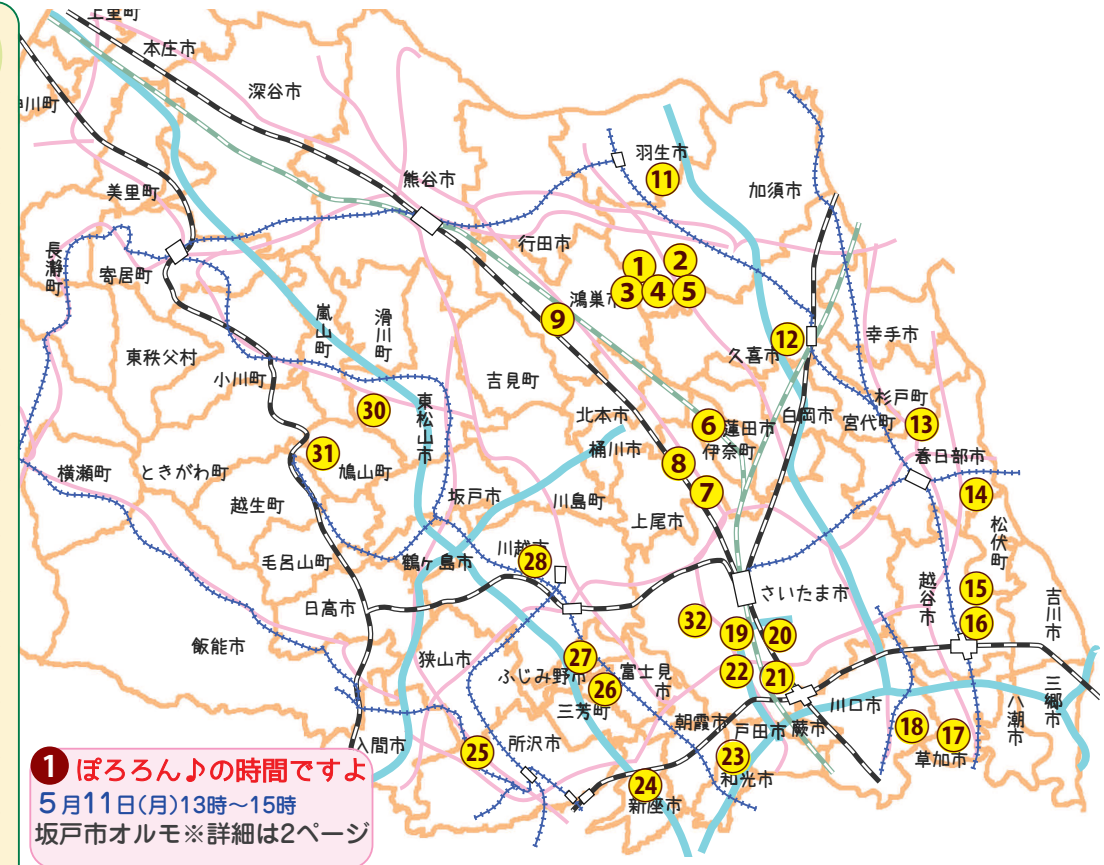
マップ&カレンダー

5月

1日（金）㉑
2日（土）⑧
3日（日）
4日（月）
5日（火）
6日（水）
7日（木）③ ⑰ ㉙
8日（金）㉑
9日（土）
10日（日）⑪
11日（月）❶
12日（火）
13日（水）⑨
14日（木）① ⑲
15日（金）㉑
16日（土）㉔
17日（日）⑮ ㉗
18日（月）
19日（火）
20日（水）
21日（木）② ⑫ ⑱ ⑭ ㉙
22日（金）㉑ ★
23日（土）
24日（日）㉕
25日（月）
26日（火）
27日（水）㉘
28日（木）⑲
29日（金）㉑
30日（土）
31日（日）







❶ ぽろろん♪の時間ですよ
5月11日(月)13時～15時
坂戸市オルモ※詳細は2ページ

❶ 双葉町民による ボランティアカフェ
月1 回10:00～15:00

5月14日(木)手作り柏餅(双葉夢工房の懐かしい柏餅を再現)
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
加須市騎西501-13 048-829-7400 SSN

❷ 社協と地域と生協 のサロン
味噌汁とおにぎりで地域の方々との情報交換の場をつくっています。お気軽にお越しください。
毎月第3木曜日10:00～15:00
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
加須市騎西501-13

⑰ つながりの会
毎月第2木曜日10:30～16:30
5月7日(木),6月11日(木)
東北復興支援販売
物産・観光情報センター
(草加駅西口徒歩1分) 草加市高砂1-1-1
☎ 048-932-6770(草加市社協)

⑱ ひまわりの会
毎月第3 木曜日10:00～15:00
5月21日(木),おしゃべりサロン・クラフトづくり、 6月18日(木)お布ぞうりつくり(要申込み)
やすらぎ会館(川口市社会福祉協議会)☎ 080-5431-0123(島田さん)

⑲ さいがい・つながりカフェ
心ゆくまでおしゃべりできます。お気軽にご連絡ください。
月2回木曜日11:00～15:00
5月14日,28日(木),6月11日,25日(木)
With You さいたま 4F 和室
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)☎ 048-601-3111さいがい・つながりカフェ

㉓ 和光３・１１ つながりカフェ
6月13日(土)11:00～15:00
総合福祉会館　参加費300円
※昼食の用意あり　☎048-452-7606(和光市ボランティアセンター)

㉔ 新座さいがい つながりカフェ
月1回 土曜日13:00 ～16:00
5月16日(土)野火止緑道散歩,
11:30　ニトリ東側の公園集合
6月13日(土)絵手紙描き＆懇談
国家公務員宿舎 集会室
新座市　☎ 090-2402-9155(谷森さん)
☎ 080-6023-2799(福地さん)

㉕ 青空あおぞら
毎月第4日曜日13:30～16:00
5月24日(日)(保育付き)
6月28(日)
※法律家による相談対応可能
新所沢公民館
所沢市 ☎ 048-829-7400(SSN)

㉙ 鳩のつどい
月2回 10:00 ～12:00
5月7日(木) パラソルカフェ
5月21日(木) 鳩のつどい
JAXA鳩山宿舎108号　鳩山町
☎ 049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

㉛ 相双ふるさとネットワーク
http://namieimonikai.com/

㉚ きずなの会
毎月交流会を行なっています。
雇用促進住宅 東松山市

㉜ 福玉・謡曲の会
With Youさいたま和室
☎080-5532-7380(薄井さん)

★ 福玉便り発送
5月22日(金)
13:30 ～
おしゃべりしにきてくださいね。

本誌に関するご連絡はこちらまで

『福玉便り』編集委員会
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
電話048-833-8731 メール:fukutama@431279.com

福玉便りお送りします。
ご希望の方にお送りいたします。
ご連絡お待ちしています。

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をおよせください。メール:fukutama@431279.com

「あれから」ずっと、そして「これから」も

さいがい・つながりカフェ

「東雲の会」の高橋さん、熱弁中

私たちは毎月2回の「さいがい・つながりカフェ」とは別に、毎年3月に「あれから○年、そしてこれから」という会を開いています。話を聞きたいと思う方をお呼びし、より多くの方に県外避難の現状を知ってもらう機会にしようと始めました。

3月22日に開催した4回目の今回は、山口恵子さん（双葉町）と村上和雄さん（楢葉町）に、原発事故からこれまでの生活の軌跡、カフェへ参加するようになったいきさつ、今の想いなどを写真を見ながら話してもらいました。住めなくなった家、丹精こめて育てた庭園、荒らされてしまった室内、避難生活を支えてくれた愛犬、刺繍作品の数々など、事故以前の生活からこれまでの時間の重みが迫ってきて言葉が見つからなくなりました。それでも、カフェでの出会いとつながりの中から「これから」が始まっていく予感も感じることができ、嬉しい限りです。

「あれから4年、そしてこれから」というタイトルで語ることにチャレンジしてくれたお2人に心から感謝です。あれからずっとカフェを開催してきた私たち。これからも「共に過ごすことがきっと明日につながる」を合言葉にして、多くの出会いを生み出せるようチャレンジし続けます。

当日は、東京・東雲住宅にある「東雲の会」の高橋祐治さん（富岡町）から地域との関係づくりや住宅内での活動について、浪江町復興支援員の佐藤さんと石澤さんからは支援員の仕事について話していただきました。盛りだくさんの会のあとは近くの中華料理店で打ち上げ！これだけに参加する方もおられ、大変な賑わいでした。「また楽しく飲んでおしゃべりしようよ～」という声があがり、けやき広場のビール祭りに繰り出すことになりました。避難している方も、そうでない方も、なかなかカフェには参加できないという方も、ご近所の方やお知り合いの方を誘って気軽にお越しください。（さいがい・つながりカフェ実行委員会　薄井篤子）

けやき広場 春のビール祭りへ行こう!

5月24日(日)11:00～19:00さいたま新都心けやき広場

当日は、スポーツフェスティバルも開催しています。お子さんも一緒に遊びにきてください。ビールを飲めなくても大丈夫!カクテルもワインもあります。何より美味しい食べ物がたくさんあるよー。東北の言葉で皆さん、楽しみましょう♪

「さいがいつながりカフェ」のマークがあるテーブルが目印。会場についたらお電話ください!入り口までお迎えに行きます。

連絡先：
小林由佳090-8304-9568

「福玉便り2015春の号外」についてのお詫びと訂正

①P17・2段目の末尾の「鈴木（南相馬市から鳩山町に避難、「鳩山町避難者の会」会長）」とありますが、「鳩山町避難者の会」の会長は鈴木文子（すずきあやこ）さんでした。関係各位にご迷惑をお掛け致しました。（会議に出席しているのは鈴木直清さんです。）。②また、2段目と3段目にかかる写真」のキャプションは、「2014年4月・サイボクハムでの交流会」の間違いでした。お詫びし、訂正させて頂きます。（福玉便り編集部）

新編集部員ご紹介！

こんにちは。立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科4年の猪狩茜と申します。今回から卒業研究のため福玉便り編集部で勉強させていただいています。私は小学校5年生から高校卒業までいわき市で生活していました。震災当日は、南相馬市の祖母の家に向かって常磐線に乗っているときに被災し、広野町の公民館に避難しました。あの日から4年という月日が経ち、時が経つ早さに驚いています。まだまだ先の見えない生活に不安や悩みがあると思いますが、少しでもみなさんの立場を理解して編集できればと思っております。人と話すことが大好きです！ぜひ多くの方とお話しできればと考えております。これからよろしくお願いします。

ありがとうございます!

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様に全面的にご協力いただいております。

ありがとうございます!

「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただいて、発行しています。

災害ボランティア・NPO活動サポート募金 www.akaihane.or.jp

●福玉募金の送金はこちらへ

郵便振替口座▶ 00160-0-291210
銀行▶中央労働金庫さいたま支店
普通預金6600705

問い合わせ▶認定NPO法人ハンズオン!埼玉　TEL048-834-2052
※寄付金には税制優遇措置があります。

Hands On! 特定非営利活動法人ハンズオン!埼玉

福玉便りのお届け作業を一緒にやってくださる方、大募集

5月22日(金)13:30-16:00ごろ
可能なお時間で。場所：埼玉労福協

労福協事務所が4階に移転しました。発送作業にお越しいただく際にはこちらにお集まりください…労福協048-833-8731まで。